

知床五湖利用コントロール導入実験 参加ガイド募集・認定要綱

□ はじめに

安全で安定的な知床五湖利用のあり方の一つとして、ヒグマが活動する時期については認定ガイドが同行するグループのみが地上歩道を利用できる制度が、H22年度から実施される予定です。新制度導入にあたって、環境への影響に配慮するとともに、ヒグマに対する高度な危機回避の技術を有すると認定され、避難誘導などの訓練を受けたガイド（以下認定ガイド）が一般参加者を引率するモニター実験を実施します（詳細は、別紙「知床五湖利用コントロール導入実験実施要綱（案）」を参照ください）。

本実験においてガイドを実施するためには、下記の研修・審査を経て認定される必要があります。希望される方は本要綱をご確認の上ご応募ください。

□ 主催者

知床五湖の利用のあり方協議会

□ スケジュール

○実験参加ガイドの募集	5月1日～5月10日
↓	
研修（1）	5月12日,13日
↓	
研修（2） （合否判定）	5月20日,21日,27日,28日
↓	
登録研修	6月3日,4日
↓	
○知床五湖利用コントロール 導入実験実施	6月23日～25日（3日間）

□ 応募条件

- ・ 昨年1年間で、有償でのガイド活動を100日以上経験していること
- ・ 昨年1年間で、知床五湖における有償でのガイド活動が30日以上あること
- ・ 事故発生時の責任対応のために、1事故について3億円以上の賠償責任保険に加入していること（知床エコツアーリズムガイドラインより慣用）

□ 研修内容詳細

研修 (1)

(日時)	5/12, 13 上記 2 日の日程のうち、いずれか 1 日に参加してもらいます
(定員)	各回 10 名程度
(概要)	屋内での講義・野外での実習および検定
(場所)	知床自然センター およびその周辺の野外
(内容)	ヒグマ、および、その対処法に関する基本知識・技術 ・ ヒグマの生態、行動特性について (講義) ・ ヒグマ対策用具の使い方 (実習) ・ 危険な遭遇を回避するための対処法 (実習) 引率者としての技術 ・ 環境配慮のルール・注意事項の周知・徹底について (実習) ・ 通常歩行時のグループの掌握 (実習) ・ ヒグマとの遭遇時のグループの安全誘導 (実習) 環境への負荷を最小限にする利用法・ルールの理解 (講義)

研修 (2)

(日時)	5/20, 21, 27, 28 上記 4 日の日程のうち、いずれか 1 日に参加してもらいます
(定員)	各回 5 名程度
(概要)	野外での実習および検定(1 日)
(場所)	知床国立公園内
(課題)	ヒグマ遭遇時の危機回避について (実習) ・ ヒグマに出合った時に行うべき行動 ・ ヒグマに出合った時に注目すべきクマの行動 ・ 見通しが悪いヒグマ生息地での歩き方(踏査)

合否判定

研修を実施中に検定項目について審査を実施し、研修終了後に審査員が合議の上合否判断を行います。 ある項目に関しては、実習と審査を個別に実施する場合があります。

登録研修（審査に合格したガイドが受講します）

(日時)	6/3, 4 2日間の研修のうち、どちらか1日に参加してもらいます
(定員)	各回10名程度
(概要)	屋内での説明および、野外での実習・訓練
(場所)	知床自然センターおよび、知床五湖
(内容)	知床五湖安全管理システムの運用について <ul style="list-style-type: none">・ 運用の熟知（講義・実習）・ 各地点の名称、自然環境、地理の把握（実習）・ 知床五湖におけるヒグマの行動特性の理解（講義・実習）・ 無線運用方法：運用本部や他のガイドとの的確な無線連絡（実習）・ ヒグマ出没時対応の複数パターンを机上および現場シミュレーションを通じて的確な情勢判断と避難誘導について共通認識の確認（実習）

研修に関する費用

- ・ 無料

平成22年度以降の新体制稼働時には、認定ガイドとなるための研修・登録費用、は有料になることが想定されています。

応募方法

- ・ 応募用紙に必要事項をご記入の上、下記まで送付ください

問い合わせ先・応募用紙送付先

〒099-4356

北海道斜里郡斜里町岩宇別 531 番地

(財) 知床財団内

知床五湖利用コントロール実験 認定ガイド応募受付（担当：山野・岡本）

Tel：0152-24-2114, Fax：0152-24-2115

知床五湖利用コントロール導入実験（第2回）
参加ガイド応募用紙

平成 年 月 日

フリガナ			
氏名	印		
生年月日	明・大・昭・平	年	月 日 (満 歳)
血液型	型	性別	男・女
現住所	〒 - Tel : Fax : 携帯電話 : E-Mail :		
勤務先	名称 : 〒 - Tel : Fax :		
緊急連絡先	氏名 : (本人との続柄) : 〒 - Tel : Fax :		
資格 *1			

*1 ガイド引率に関連する資格があれば記載ください

研修参加希望日

研修(1)	第一希望：	月 日	第二希望：	月 日	
研修(2)	第一希望：	月 日	第二希望：	月 日	第三希望： 月 日
登録研修	第一希望：	月 日	第二希望：	月 日	

賠償責任保険加入状況

保険会社名：	1事故についての最高賠償額：
保険契約者名義：	備考（保険適用に関する特記事項）

事務局確認欄

申し込み受付	研修参加日の連絡	合否	合否通知
月 日	月 日	合 ・ 否	月 日

【昨年一年間のガイド歴】 (※知床五湖でのガイド歴に関しては文頭に☆印をつける)

記入例： ☆知床五湖で5人程度を引率したツアーを10日実施した

4月 件	・ ・ ・
5月 件	・ ・ ・
6月 件	・ ・ ・
7月 件	・ ・ ・
8月 件	・ ・ ・
9月 件	・ ・ ・
10月 件	・ ・ ・
11月 件	・ ・ ・
12月 件	・ ・ ・
1月 件	・ ・ ・
2月 件	・ ・ ・
3月 件	・ ・ ・
合計 件	

【ヒグマとの遭遇体験について】

自らのヒグマ遭遇経験のうち、最も危険性が高かったものについて、できるだけ詳細に記載してください
引率時の体験を優先して記載し、無ければ引率時以外の経験でも結構です

(ヒグマに遭遇した際の状況；場所・人数・ヒグマ頭数・ヒグマとの距離など)

(ヒグマに遭遇した後、自らがとった対応とそれに対するヒグマの反応)

(ヒグマとの遭遇およびその後の対応についての反省・評価)

上記を含め、過去の遭遇体験の回数（車に乗車時を除く） _____ 回

知床五湖利用コントロール導入実験実施要綱（案）

1 目的

知床五湖では、春から夏を中心にヒグマが頻繁に出没することにより、閉鎖されることが多く、安定した利用が困難になっている。また、夏から秋は、混雑がひどく、歩道周辺の植物の踏みつけによる荒廃など自然環境への影響が懸念されるだけでなく、自然体験の質の低下が懸念されている。これらの問題を解決するため、環境省、北海道、斜里町では、地域の関係者の意見も踏まえ、電気柵を備えた高架木道を延長するとともに、地上歩道の利用について、ヒグマの出没状況、植生の状況、利用者数を勘案し、①ヒグマ活動期、②植生保護期、③自由利用期の3つの期間に区分して、平成22年度から利用の調整を実施することを決定した。その中で、ヒグマ活動期においては、環境への配慮方法や、ヒグマに遭遇した場合の対処方法を習得していると認定されたものが引率するグループのみが、地上歩道を利用できることとしている。

本実験では、事前に講習・認定等を行いヒグマ活動期に安全に引率ができると判断されたガイドが一般の利用者を引率することにより、制度の運用上の課題を明らかにするものである。

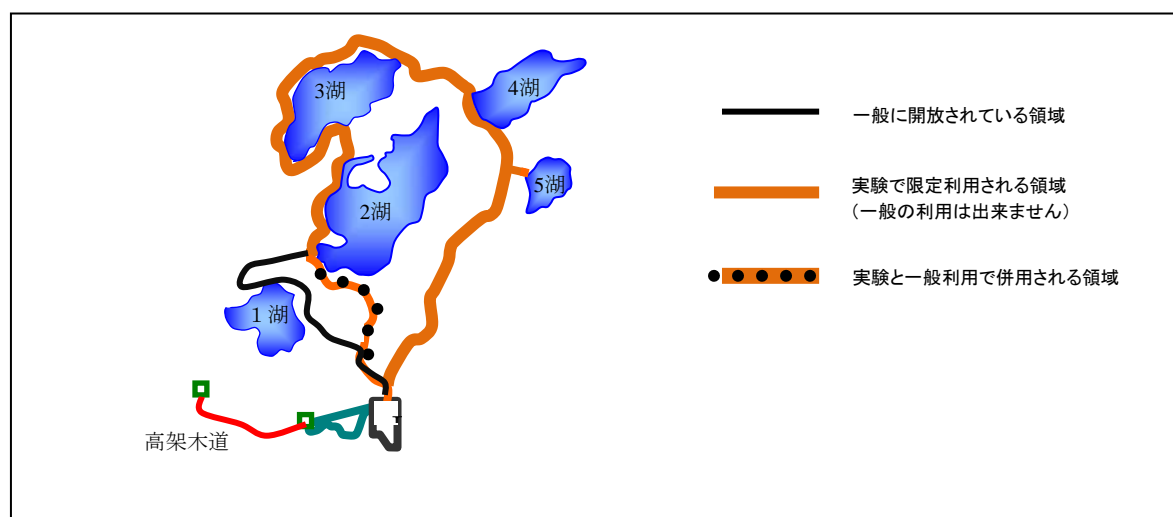
2 実験概要

- ・ 認定ガイドが参加者を引率するツアーのみで3-5湖遊歩道を限定利用します。
- ・ 実験期間中、高架木道および1-2湖遊歩道は一般利用可能です（1-2湖遊歩道はヒグマ出没時には閉鎖されます）
- ・ ヒグマ遭遇時の危機回避を行うために、認定ガイド研修と無線等によるバックアップ体制をとっています(*6 参照)
- ・ 認定ガイドは事前の研修・審査を経て、環境への配慮方法についての知識・技術を有すると認定されています。

3 主催者 知床五湖の利用のあり方協議会

4 実施日時 平成21年6月23, 24, 25日 終日

5 実験時の遊歩道および高架木道利用状況



6 ヒグマ遭遇時の危機回避体制

◇ 認定ガイドについて

ヒグマ遭遇時には認定ガイドがツアー参加者を掌握して一時的な危機を回避します

- 認定ガイドは、ヒグマ対処法認定研修（2日間）を受講し、その後の審査に合格しヒグマに対する高度な危機回避の技術を有すると認定されています
- 審査に合格したガイドは、全体の危機回避システムの一部として有効に機能し、必要に応じて適切に避難誘導等を行う訓練として、登録研修（1日間）を受講します
- 認定研修は広く公募します（詳細は実験参加ガイドの募集・認定要綱参照）

◇ 危機回避の体制

ヒグマに遭遇したグループ以外にも危険が及ばないようなバックアップ体制をとります

- 認定ガイドは無線機を携帯し、緊急時には受付や他ツアーの引率ガイドと連絡を取ります
- 受付が無線連絡センターとなり、緊急時の避難誘導指示や情報の整理を行います
- 必要に応じてヒグマ対策専門スタッフの応援を要請します

7 実験ツアー内容

- ・ ツアーの定員は10名です
- ・ ツアーコースは、1湖を経由せず、入口→5湖→4湖→3湖→2湖→出口とします
- ・ ツアー時間は2時間45分とします（集合から解散までをツアー時間に含めます）
- ・ 各ツアーのスタート間隔は20分、15分、10分の3パターンを設定し、それぞれ日替わりで実施します
- ・ 同時に遊歩道内でツアーを実施しているグループ数は最大8グループとします

8 事前予約および当日受付の方法

- ・ ツアー参加には事前予約が必要です

WEBサイト上に公開される「ツアー予約受付システム」を利用して予約が可能です
ガイド事業者に直接申し込むこともできます

- ・ 全てのツアー予約状況は「ツアー予約受付システム」上で一元管理します。
- ・ ツアー実施時間枠の調整・予約に関する問い合わせ窓口は、知床斜里町観光協会及び知床財団が行います。
- ・ ガイドは引率するツアーの参加者受付リスト（参加者氏名、年齢を記載）を作成します
- ・ ツアー当日、ガイドが提出した参加者受付リストをもとに、受付において本人確認を行います

9 知床五湖駐車場の混雑対策

- ・ 実験ツアー参加者は比較的長時間五湖エリアに滞在するため、駐車場の混雑が予想されます。この対策として、各種交通機関の紹介や、シャトルバスの運行などの対応を検討します。

10 費用

- ・ 実験ツアーの参加費は有料とします
- ・ 料金はガイド事業者が自由に設定できるものとします
- ・ ツアー参加者は代金を直接ガイド事業者に支払います
- ・ H22年度以降に想定されているツアー参加者1人あたりの手数料や認定ガイドの研修・登録費用は、本実験については無料とします

11 実験ツアー運用上のルール

- ・ ツアー実施中は参加者の安全を第一に考える
- ・ 前のツアーの追い越しはしない
- ・ 前後のツアーの進行を妨げない
- ・ 大きな音を出さない(ヒグマに対する危機回避の場合を除く)
- ・ 歩道を踏み外さない(ヒグマに対する危機回避の場合を除く)
- ・ ヒグマを目撃した場合は、目撃情報を速やかに無線連絡する
- ・ ヒグマの写真撮影を目的にしない
- ・ 集合から解散までをツアーとし、設定された開始・終了時間を厳守する

12 実験ツアー参加者への留意事項

- ・ 一部整備されていない遊歩道を3時間程度歩く体力が必要です。
- ・ 適切な服装・装備をご用意ください(靴・雨具など)
- ・ ガイドの指示には必ず従ってください(飲酒された方はご遠慮いただきます)

13 検証事項・検証体制

- ・ 認定研修及び審査における検証
 - ヒグマに関する危機回避に必要な技術の確認が行えたかを検証
(危機回避のための引率技術の確認も含む)
 - ヒグマ対策の専門家等に依頼
- ・ 危機回避のためのバックアップ体制の検証
 - 登録研修時にヒグマ遭遇後の対応シミュレーションが適切に実施されたかを検証
 - ヒグマ対策の専門家および行政機関により検証

上記の検証の上、危機回避体制が確認されたと、五湖の利用のあり方協議会の事務局(環境省・北海道・斜里町)により判断された場合、実験ツアーを実施する。

- ・ 認定ガイドによるルールの順守状況および利用者満足度の検証
 - ツアー終了後、参加者アンケートの実施
- ・ 受付手続き、および緊急時の対応など、運営体制を検証
 - 引率ガイドからツアーレポートの提出による評価